



静岡県地方版
第360号
2021-12-15

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
〒427-0034
静岡県島田市伊太
1301-18早崎方
TEL・FAX
0547(36)4014

私たちの
運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、治安維持法体制の復活に反対する

一、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること

一、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と補償をおこなうこと

政治変革のとりくみへ気持ち新たに

県本部事務局次長 平塚 倫豊

オミクロン株の出現はありますが、新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着いてきた感があります。第5波の頃を考えると、街にも賑わいが出てきました。日本人の国民性か、自粛・マスク着用等々、外国のそれと比べると、徹底されていたことが大きな要因でしょう。

日本中に猛威を振るった第5波を呼び起こしたのは、東京オリンピック・パラリンピックの強行開催であったことは間違いありません。しかし、開催までは中止を願っていた私も、テレビで放映されると、ついつい日本選手を応援していました。

中学まで水泳をやっていた私は、競泳が大好きです。私と種目が同じなため、特に大橋悠依選手の400m・200mの個人メドレーのダブル優勝は涙を流しながら

見ていました。最初に比較的得意な400mで金メダルをとった大橋選手は、苦手とする次の200mでは、最後の自由形の後半、息つきをしない作戦に出ました。1回息つきをすると1cmほど遅くなるそうです。半面、激しい戦い後半での「ノーブレイス」は苦しいことの上ありません。しかし、やり切った大橋選手は2つめの金メダルを手に入れました。

野党共闘に対して、あるいは共産党に対して、新しい形での攻撃が繰り返された今回の総選挙で、私は、大橋選手のように1cm2cm前をめざしていたか、死にもの狂いだったかと考えると、自分の甘さを自覚させられます。でも1回表に1点取られただけです。1回裏・来年の参院選では、2点取って改憲発議をやめさせなければなりません。成長した野党共闘を力に！

(ひらつか・みちとよ)

第38回県本部大会を開催



延期されていた第38回県本部大会は、11月27日、支部からの代議員23名、評議員2名の参加のもとに清水民商会館において開催されました。

第一部では、現在とりくみが進んでいる劇映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の原作者である藤田廣登氏が記念講演、映画製作・上映運動を強めていく上で大きな力を与えてくれました。

第二部の大会では、山田巖副会長の開会あいさつとこの一年余の間に亡くなられた12名の会員に黙祷をささげました。続いて江川佐一会長のあいさつ、大会に向けて中央本部の増本会長をはじめ、共産党県委員会、県評、新婦人県本部、国民救援会県本部からメッセージが寄せられていることが紹介されました。

次いで早崎末浩事務局長が活動のまとめと今後の活動方針について提案、勝呂伸子財政部長が決算と予算について報告。討論では、県本部大会の直前に

支部結成を行なった中東遠支部の山田俊廣支部長と志太榛原支部の山田巖支部長が支部結成に至る経過や教訓、今後の活動について発言、女性部の活動について見機久礼理事が発言しました。報告提案については全会一致で承認されました。

(写真は大会参加者)

役員体制については4役を再任するとともに新任一人を含む22人の理事を選出しました。

- 新しい体制は次のとおり。
- ・会長：江川佐一
 - ・副会長：花井征二、山田巖
 - ・事務局長：早崎末浩
 - ・事務局次長：勝呂伸子、平塚倫豊
 - ・4役以外の理事：寺田美智子、下山一美、加藤宏司、山崎公久、高山新一、佐野正明、見機久礼、内田隆典、松原聡、寺尾昭、白鳥寛一、後藤征代、芝田令子、浅野猛、山田俊廣、森下厚司
 - ・会計監査：平井敏男

私と国賠同盟

岳南支部 若林政則

永らく国賠同盟に加入していますが活動らしい活動もなく、署名集めと会費を納め募金をするぐらいしかやってきませんでした。(反省)

私が生まれたのは終戦間近の1945年5月5日でした。敗戦により「治安維持法」は廃止になりましたが、国家独占資本主義と軍国主義国家が戦争に突き進むために制定された「治安維持法」で犠牲となった多くの方達に謝罪と賠償を国に求める国家賠償法の制定を、1日も早く実現させなくてはなりません。

先の総選挙で改憲勢力が3分の2以上の議席を占め、憲法9条の改変が現実のものとなっている状況下で、反戦平和の運動が益々重要となっています。特に来年7月の参議院選挙での野党共闘の勝利で、改憲勢力を少数派に追い込むことがどうしても必要です。そのために頑張る決意です。

(富士宮市・わかばやし まさのり)

第一回県本部理事会を開催

12月14日、静岡労政会館において理事16人参加のもとに県本部大会後最初の県本部理事会が開催されました。江川会長の開会あいさつ、山田副会長の情勢報告、早崎事務局長の活動のまとめと当面の活動方針について提起をうけたあと討論を行い、必要な意思統一をはかりました。

政治情勢の点では、総選挙をうけて再発足した自公政権のもと、岸田首相の改憲に「前のめり」の発言が際立ってきており、維新や国民民主党の動きと相まって憲法9条改定が危険な新局面になってきていることが示されました。

活動方針の点では、県本部大会での特別決議「激動する内外情勢のもと、学習しさらに行動する同盟めざし、次期大会までに500名の県同盟を建設しよう」をうけ、会員拡大の進め方、国賠の請願署名のとりくみ促進と併せ「改憲を許さない」署名にとりくむこと、映画「伊藤千代子の生涯」のとりくみなどが話合われ意思統一がはかられました。

訃報

◇清水支部・柏本忠義さん、11月23日死去、83歳。ご冥福をお祈りいたします。

会員拡大と国会請願署名到達

2021・12・14現在

支部名	会員拡大					国会請願署名							
	目標	10月到達	増減	現在到達	うち夫婦会員	団体目標	10月到達	増分	現在到達	個人目標	10月到達	増分	現在到達
伊豆	27	22		22	6	50	5		5	350	20		20
沼駿	60	53	-1	52	12	60	0	+2	2	800	0	+10	10
岳南	25	20		20	6	40	2	+1	3	350	0	+19	19
清水	45	36	-1	35	12	60	5	+7	12	1,100	53	+20	73
静岡	45	36		36	2	80	2	+1	3	500	10	+5	15
志太榛原	130	121	+1-1	121	34	50	6		6	400	73		73
中東遠	95	87	+2	89	12	50	3		3	400	50		50
西部	73	62	+3	65	2	80	2		2	750	40	+17	57
県本部	-	-		-		30	1		1	350	0		0
合計	500	437	+6-3	440	86	500	26	+11	37	5,000	246	+71	317

しずおか同盟文芸

※※ 短歌 ※※

延暦寺の 鐘に偲ばん 墓前祭
尊き姿の 宗平協

(比叡山延暦寺座主 世界平和の森川氏昇天さる)

初めての 太鼓の音は うち響く

宗平協 来焼の 生き仏様

オミクロンも 学園浄化も 欠かせない

学術会議は 知的国宝

深き秋に 月光と共に 一瞬の

百四十年ぶりの 皆既月食

静岡 松浦美智世



編集後記

▼ハト派と見られ、「聞く力」が自分の強みとして登場した岸田首相ですが、政権の安定のためには簡単にはいかないようで、改憲めざす発言や敵基地攻撃などタカ派の発言が際立ちます。▼総選挙で生じた政党間の力関係の変化の下、とりわけ憲法をめぐる危険な局面が生まれています。この動きを阻止する上でも来年夏の参院選は正念場。今から準備を怠りなく。 S・H